

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	ファイバー工学分野の技術者・研究者養成を目指した日中韓大学院生研修プログラム	
学部・研究科名	繊維学部・総合理工学研究所	
プログラム実施期間	2018年8月24日～8月31日	
研修先(国・都市・施設名)	中国・蘇州市・蘇州大学	
参加者数	14名	知の森からの支援者：4名
プログラム概要	<p>ファイバー工学分野における日本・韓国・中国の大学院生の交流の場を設け、学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。平成19年より日本・韓国の2か国間で開始し、平成23年より中国が加わり3か国の持ち回りで毎年開催してきた実績を有し、今回は中国で開催する。</p> <p>研究発表ならびに討論会を中心に実施し、英語を使用し、グローバル社会に向けて、プレゼンテーションとコミュニケーション能力を向上させ、自身の研究や最近の研究動向に対する知識を深める。また4国学生間の交流の場を提供するものである。</p>	

実施状況・成果

第10回International Symposium on High-Tech Fiber Engineering for Young Researchers が、2018年8月24日(金)～8月31日(金)に、中国の蘇州大学にて開催され、中国、韓国、日本、パキスタンの4カ国から約150名の学生が参加しました。信州大学の総合理工学研究所繊維学専攻のKim Suk Jooさんが「優秀ポスター発表賞」を、総合工学系研究科生命機能・ファイバー工学専攻のPhan Duy Namさんが「優秀オーラル発表賞」を受賞しました。受賞者は二人ともナノファイバー不織布に関する研究の発表を行いました。

各大学からの参加者により口頭発表およびポスター発表が行われ、若手研究者同士の活発な意見交換を通して、繊維・ファイバー工学分野における4カ国の研究動向や展望を確認することができました。さらにコーディネーター教員により、ファイバー工学分野の最新の研究動向や課題に関する話題提供の場が設けられました。

英語を標準語とし、発表や討論を通して、英語でのコミュニケーション能力を向上させました。また、さまざまな国籍の学生が交流することで、他国間でのコミュニケーションや人脈形成に繋がり、将来的にグローバル規模で活躍する人材を育成するきっかけになりました。国際社会で活躍できる技術者・研究者になるための貴重な経験ができたことと評価しています。

学生の声①-総合理工学研究所 学生

I learned a lot about the edge-cutting technologies about nanofibers and nanocomposites in the conference and exchanged the ideas in the trilateral cultural exchange and workshop. It was a great program I have ever attended and I believe that it will help me a lot in the future's research.

学生の声②-繊維学部 学生

全体の感想ですが、2点あります。
1点目が英語を用いて予想以上にコミュニケーションを取れたことです。日々研究室で英語で話していた成果が少し出たことが分かったのが大きな収穫でした。
2点目が海外の学生の研究への取り組み方を知れた事です。非常に良い刺激となりました。

JCK2018_受賞者



JCK2018_集合写真

